

令和6年能登半島地震における 学校教育支援の現状と展望 情報と身体性、それから



齋藤 玲（認知科学研究分野／大学院情報科学研究科）

小田隆史（東京大学）

桜井愛子（防災教育実践学分野／神戸大学）

佐藤 健（防災教育実践学分野）

福島 洋（陸域地震学・火山学研究分野）

- I. 学校教育関連情報の集約と発信「学校教育支援プロジェクト」の現在とお礼
- II. 現在の状況と課題（被災地外も含めて）
- III. 報告の終わりに代えて「私にできることは何か？」を超えて

1. 学校教育関連情報の集約と発信「学校教育支援プロジェクト」の現在とお礼

令和6年能登半島地震・学校教育関連情報まとめサイト

🧡令和6年能登半島地震・学校教育支援プロジェクト🧡

🏠このサイトについて

- 令和6年能登半島地震からの復旧・復興を支援するために、「**学校教育**」に関する情報をまとめています。
- 被災地の学校関係者の方々、被災地を支援される全国・世界中の学校関係者、市民・学校ボランティアの方々、学校教育に関わるすべての人にとっての情報・学習のサポートを目指しています。
- まずは即応的に、そして継続的にご支援していく所存です。

- 「ホーム」下部：学校教育関連のリンク
- 「ニュース・通知」：学校教育関連の情報を毎日更新
- 「各ページ」：復旧・復興に関わるキーワードの内容の抜粋・要約を掲載

- **フェイクニュース・情報爆発の時代**において、できるだけ「**正確な情報**」を保証して、情報の一元化・共有することを十分に心がけます。しかしながら、速報性を大事にするために情報に加筆・修正・削除を実施することがあります。どうかご容赦ください。



2. 学校教育関連情報の集約と発信「学校教育支援プロジェクト」

立ち上げの背景

- 学校教育の支援は、**継続的**に必要。
- 学校教育の支援において、**即応的**に支援できないか？
 - ニーズがわからない。現場にも入れない。現場の学校関係者、めちゃくちゃ多忙。超多忙。
 - プッシュ型で情報を集約し発信しようと思案。
 - **フェイクニュース・情報爆発の時代**における**情報保証と学習・学びの支援**をしたい。

Webサイトの**対象者・目的・主な内容**

- **被災地内・被災地外**の学校教育に携わるすべて、一般・学校ボランティアの方々
- **情報**支援、**学習**支援。
- 学校再開、災害関連疾病、心のケア（一般、要支援者、援助者）、ボランティア、**学びの支援**

12

心のケア

子どもへの接し方 心のケア・一般 心のケアなど・要支援者 心のケア・援助者 心のケア・Q&A

A) 被災地での学校における心のケア（心理的配慮・心理社会的支援）



1. 専門家の力が必要ですが、ただし、担い手は、必ずしも専門家だけではありません。
2. 教員から子どもへ。
3. 教員同士、ときには子ども同士も。保護者の方もお忘れなく。
4. 一人で抱え込まないでください。教員も被災しています

B) 被災地外での学校における心のケア（心理的配慮・心理社会的支援）



1. 転校生がいるかもしれません。教員、子ども、保護者、全員で、理解、ケア、配慮、支援していく必要があると思います。
2. かつて被災した経験のある方に対しても、どうか配慮、ケアしてください。どうかお願いいたします。

ニュース・通知

学校に関するニュース・通知などに関する情報を毎日更新しています。

 政府機関 ※随時更新

[令和6年能登半島地震について](#) (文部科学省)

被害と対応状況の最新版は、令和6年能登半島地震 (第38次報) 4月25日13時30分時点

スポーツ庁ウェブサイトが公開されております。[令和6年能登半島地震 被災者の皆様へ](#) (スポーツ庁)

石川県教育委員会において、子供たちの学びへの支援を求める声と支援したい思いをつなぐためのポータルサイトが開設されました (2024年2月9日確認)。

[盛山文部科学大臣記者会見 \(令和6年4月26日\)](#) : 文部科学省 (文部科学省) YouTube


[盛山正仁文部科学大臣記者会見録 \(令和6年4月26日\)](#) テキスト版

[盛山文部科学大臣記者会見 \(令和6年4月23日\)](#) : 文部科学省 (文部科学省) YouTube

[盛山正仁文部科学大臣記者会見録 \(令和6年4月23日\)](#) テキスト版

[盛山文部科学大臣記者会見 \(令和6年4月19日\)](#) : 文部科学省 (文部科学省) YouTube

[盛山正仁文部科学大臣記者会見録 \(令和6年4月19日\)](#) テキスト版

 毎日の記録 (随時更新) 4月21日—5月4日

1. [石川 輪島 能登半島地震発生4か月 すべての小中学校で給食再開](#) (NHK [2024年5月1日])

2. [輪島市の全小中学校で給食再開 約4か月ぶりの温かい給食](#) (NHK [2024年5月1日])

3. ["放課後に遊ぶ場を"大学院生などが遊具手作り 石川 珠洲](#) (NHK [2024年4月30日])

4. [輪島市 小学生が毎年恒例の田植え体験](#) (NHK [2024年4月30日])

5. [地震被害で学校ごと一時移転 輪島の日本航空高校石川が東京で1カ月遅れの始業式 懸知事が復旧支援を強調](#) (石川テレビ [2024年4月30日])

6. [大型連休にあわせ輪島市の神社で子どもたちのための緑日](#) (NHK [2024年4月28日])

7. [グラウンド崩れ、道路は寸断 輪島高野球部、地震後初の公式戦へ](#) (朝日新聞 [2024年4月27日])

8. [石川 輪島高校男子バレー部 転校の部員も県大会・高校総体へ](#) (NHK [2024年4月26日])

1. **震災当時、被災地の学校教育関係者は、情報を集約している暇などなかった／ない。**
2. **被災地外の学校教育関係者も、日々の業務にて、令和6年能登半島地震 AND 学校に関する情報を細かく調べている時間的余裕がなかった／ない。**
3. **かつて被災した学校教育関係者のなかには、調べることに自体にチャレンジを感じる方もいるはず。すぐに情報に接近することが難しかった／難しいことを予測 (傍証的個人経験に基づく)。**

“地震AND学校”情報を、被災地内、被災地外、そして多様な人がいるなかで、いかに情報を集約し、共有できるか

学校教育支援プロジェクト「まとめサイト」関連の残された課題

1. **翻訳プロジェクト（多言語化）**が、私自身の労力不足で中途半端
2. さらに充実しえるコンテンツがあった（「**震災ボランティア**」、「**心のケア（要支援者）**」、「**心のケア（援助者）**」）
3. 東日本大震災から13年が経過。震災時・後の教員の経験（心のケア）に関する調査のさらなる実施とまとめを**もっと急ぐべきだった**

（代表・齋藤：日本心理学会研究助成に基づく研究プロジェクト）

II. 現在の状況と課題（被災地外を含めて）

🏠 学校の状況（石川県）

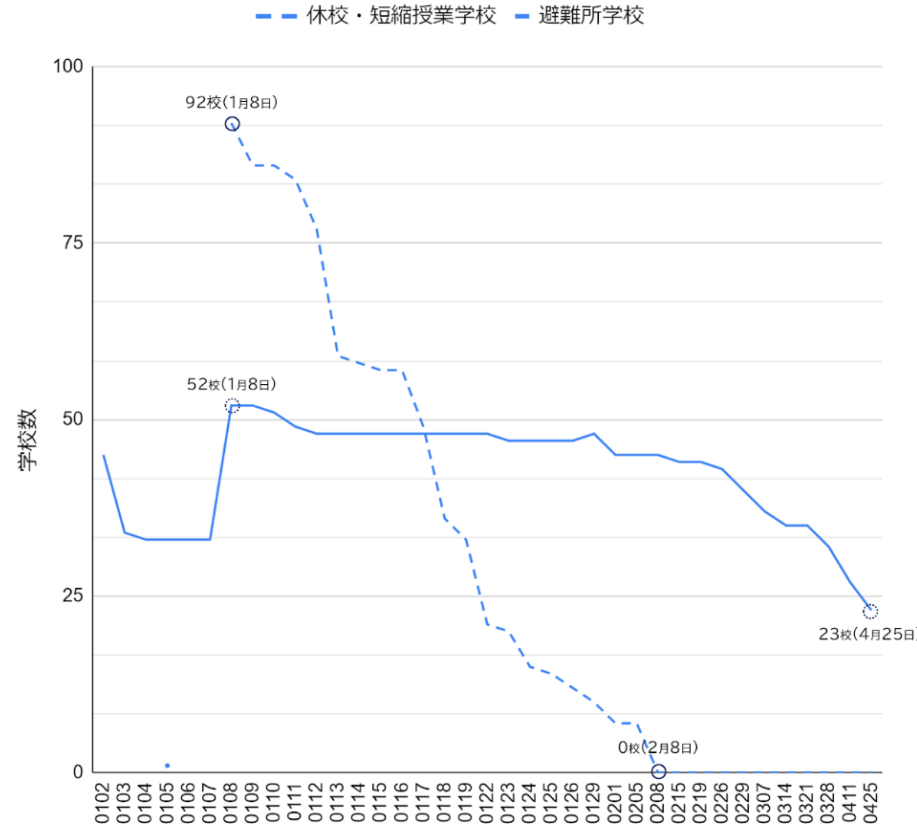
震災四ヶ月 石川県の休校・短縮授業学校と避難所学校の推移

令和6年能登半島地震による被害情報（第1報から第38報 [4月25日] をもとに作成予定）

（2024年5月3日（金）作成）

※クリックで拡大。

※第28次報（2024年2月8日）時点で休校・短縮授業学校は0。



（想像できない状況が多々あるなかで、現在の避難所をいち早く解消しようというキャンペーンではない。一方で・・・）

1. **学校×避難所**という制度的なチャレンジがあるか。
2. **学校における働き方改革**のチャレンジがいわれて久しい。少子高齢化時代に、かつての学校システムが立ち行かなくなっている。
3. **（デジタル・情報）テクノロジーの有効な利活用と、人的資源の量の充実。**
4. 学校の教職員のQOL充実は、子ども（未来）のQOL充実に。

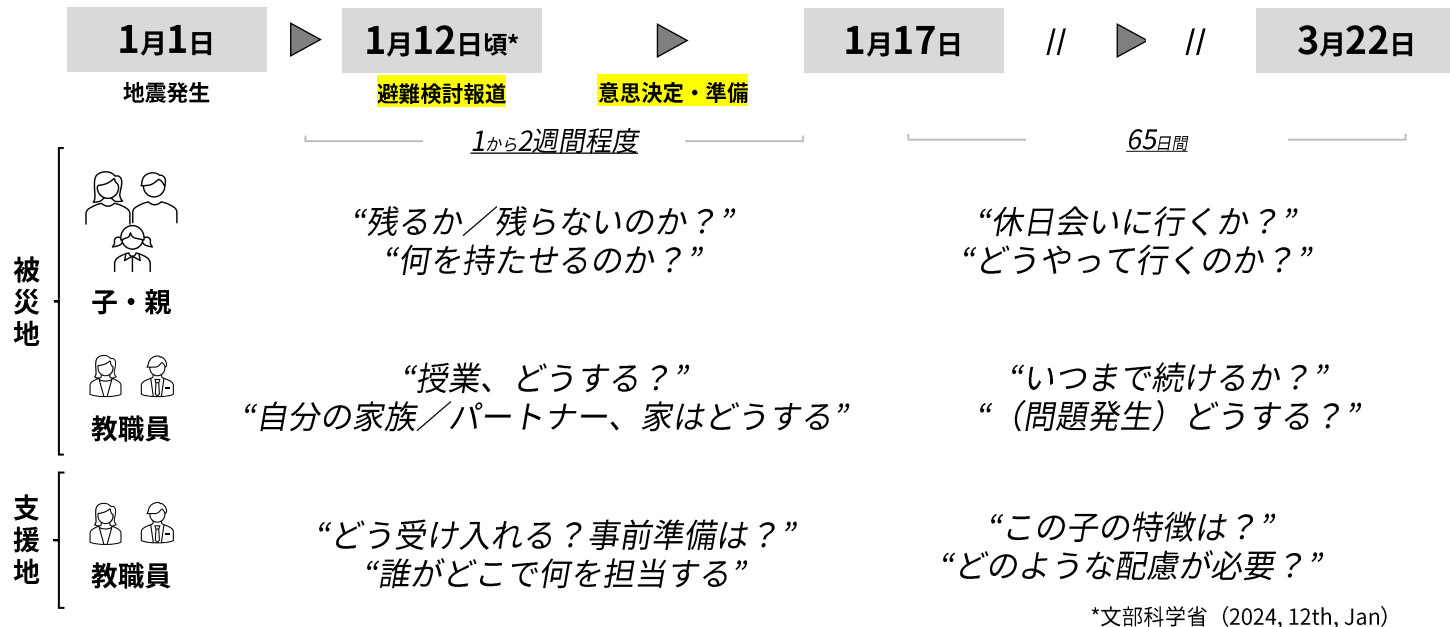
学校の教職員のQOL充実は、子ども（未来）へ。災害対応の観点から。テクノロジー活用がカギになるか。

中学生の集団避難終了

2024年3月22日（金）に中学生の集団避難が終了。

- ・ 輪島 中学生の集団避難終了「お母さんとたくさん話したい」
（NHK [2024年3月22日]）
- ・ 輪島市から集団避難していた中学生が地元に戻る 集団避難終了
（NHK [2024年3月22日]）
- ・ 石川 輪島から集団避難の中学生たちのお別れ会 22日に地元へ
（NHK [2024年3月21日]）
- ・ 「親と会えてほっとしています」 集団避難の中学生が珠洲に戻る
（NHK [2024年3月21日]）

中学生集団避難の過程と想像しえる対応（意思決定・準備など）@令和6年能登半島地震



1. 中学生の集団避難に関する専門的見地を求められ苦心した2024年1月。**多様な子ども・家庭があるなかで、絶対的な正解も不正解もない／なかった。**
2. **今後、同様の意思決定が同様に我々に求められる可能性。**
3. **自分事／社会事化するべき現象。**自分たち／自分自身が集団避難の当事者になった場合、あなたはどのような意思決定を取るか？また、学校は、行政は、どのような意思決定の支援等を行うか？
4. **学校では、「集団避難」という観点からの災害の急性期以降の対応に関する議論／事前の備え（計画）が必要。**

学校では、一つに「集団避難」という観点からの議論／事前の備え（計画）が必要。

III. 報告の終わりに代えて「私にできることは何か？」を超えて

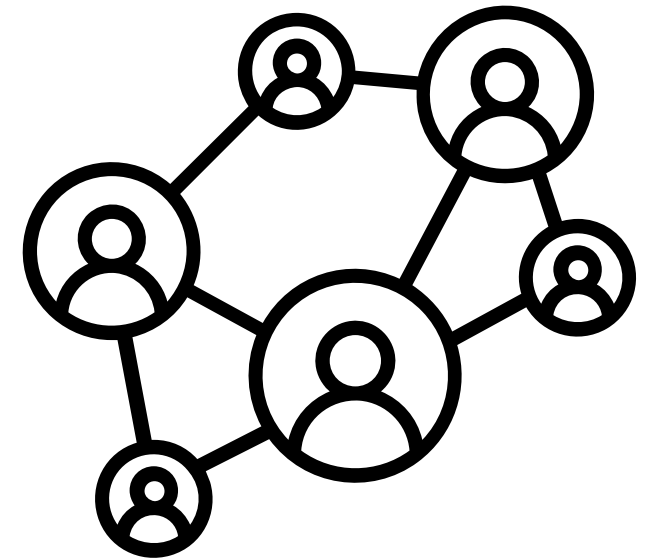
石川県の特別支援学校の一人の先生からの**悲痛な訴えと相談**

東日本大震災を経験した先生方から**教えていただいたたくさんしたこと**

「私にできることは何か？」

「私たちにできることは何か？」

情報と身体性、それから



令和6年能登半島地震における 学校教育支援の現状と展望 情報と身体性、それから



令和6年能登半島地震・学校教育関連情報まとめサイト
<https://sites.google.com/view/2024notohantoujisin>

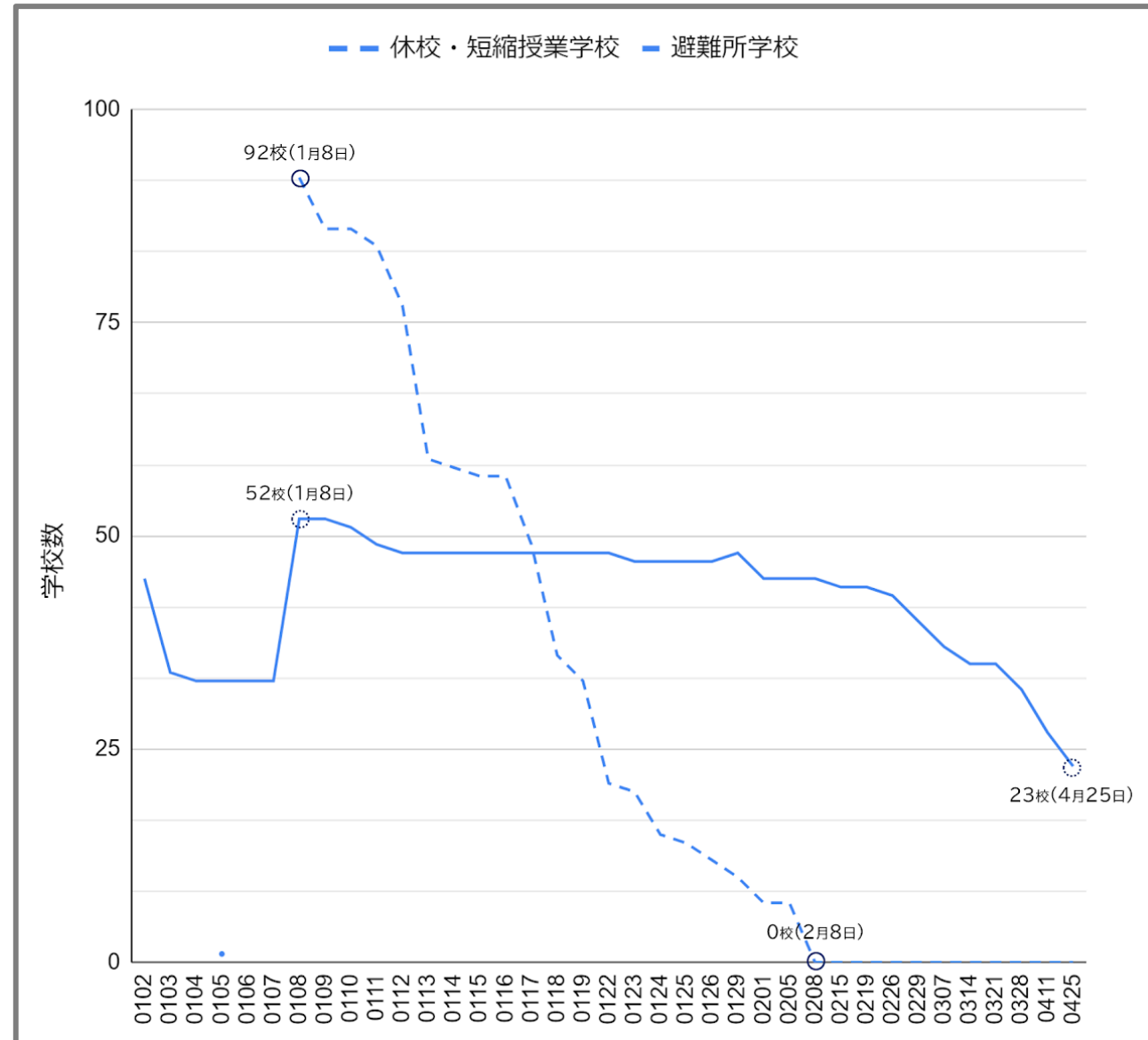
齋藤 玲（認知科学研究分野／大学院情報科学研究科）

小田隆史（東京大学）

桜井愛子（防災教育実践学分野／神戸大学）

佐藤 健（防災教育実践学分野）

福島 洋（陸域地震学・火山学研究分野）



中学生集団避難の過程と想像しえる対応（意思決定・準備など） @令和6年能登半島地震

